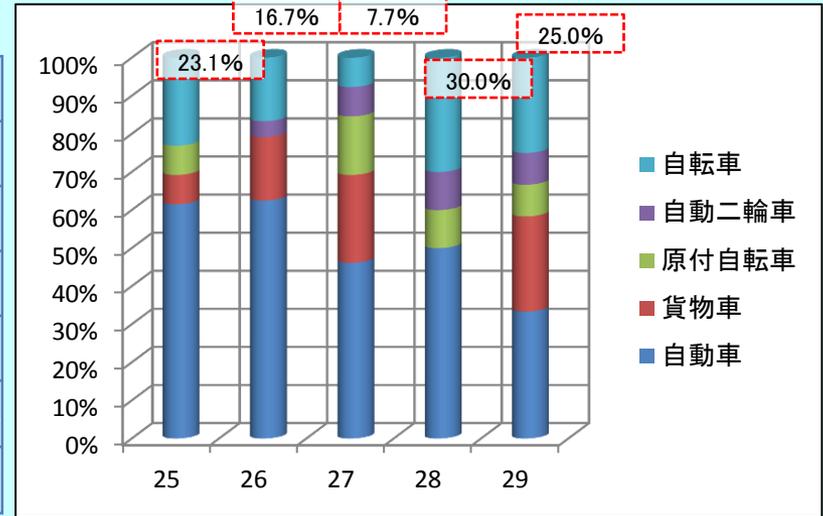


都内における自転車酒酔い運転の現況

酒酔い運転事故の年次推移(車種別)

	25	26	27	28	29
自動車	8	15	6	5	4
貨物車	1	4	3	0	3
自動二輪車	0	1	1	1	1
原付自転車	1	0	2	1	1
自転車	3	4	1	3	3
合計	13	24	13	10	12

酒酔い運転事故に占める自転車関与事故率(車種別)



都の現況

- 都内においては、自転車による酒酔い運転事故が、自動車の次に多い傾向が見られ、自動二輪車や原動機付き自転車よりも多い。
- 自転車は、都市における移動手段として、コスト面を含め利便性が高い一方で、徒歩と比べて速度が高く、車両でもあることから、ひとたび事故が起こると、被害者になるだけでなく、加害者にもなりかねないもの。
- 自転車が道交法上の軽車両にあたるとの認識を十分に啓発し、自転車でも酒酔い運転になることを十分に都民に啓発するなどの対策が必要。
- このため、酒酔い運転については、自転車も自動車同様に適用されます(道交法117条の2第1号)刑事罰の対象になることを本キャンペーンで周知する。

